

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和6年度第3回宮古市市民自治推進委員会を次のとおり開催しました。

令和6年10月28日

宮古市市民自治推進委員会

- 1 開催日時
令和6年10月9日（水） 午後1時30分～午後3時30分
- 2 開催場所
イーストピアみやこ 2階 多目的ホール
- 3 議題
（1）令和7年度実施提案事業の審査について
（2）総合計画後期基本計画（素案）について
- 4 会議の概要
別添のとおり
- 5 問い合わせ先
企画部 企画課 企画調整係
電話0193－68－9064

令和6年度第3回宮古市市民自治推進委員会 【開催結果】

- 1 出席者（10名）
 - ① 昇高茂樹（委員長） ② 戸由忍（副委員長） ③ 八島彩香 ④ 本多政彦
 - ⑤ 澤田亮 ⑥ 長洞慶幸 ⑦ 小林智恵子 ⑧ 門坂知実 ⑨ 佐々木聡子
 - ⑩ 小野寺美賀子
- 2 欠席者（5名）
 - ① 三浦博勝 ② 香木みき子 ③ 祝田誠 ④ 志賀政信 ⑤ 川上寿恵
- 3 事務局出席者（8名）
 - ① 企画部長 多田康 ② 企画部企画課長 箱石剛
 - ③ 企画部企画課企画調整係長 工藤真奈美
 - ④ 市民生活部長 若江清隆 ⑤ 市民生活部生活課長 伊藤宏子
 - ⑥ 市民生活部生活課 男女参画・協働推進係長 小向和美
 - ⑦ 同係 主査 名取綾子 ⑧ 同係 主任 中島奈穂子
- 4 傍聴者 なし
- 5 議事等
 - (1) 令和7年度実施提案事業の審査について
 （事務局説明：生活課 男女参画・協働推進係）
 令和7年度実施提案事業として企画提案書が提出された次の事業について、はじめに「テーマ設定型事業」のテーマ説明を担当課から行い、その後、各団体がプレゼンテーションを実施のうえ審査を行った。
 いずれの事業も基準を満たしたため、候補事業として採択することで承認された。

①【審査結果】

※30点満点

No	事業名	事業実施主体名	平均点	18点未満人数
【テーマ設定型事業】 テーマ：ふるさと産業人材の確保促進に向けた企業インターン事業				
1	企業の魅力を調査発信する取材型インターン事業	NPO 法人 みやっこベース	26.6	0人
【自由提案型事業】				
2	こどものまち「みやっこタウン」の開催	NPO 法人 みやっこベース	26.3	0人
3	「鍬ヶ崎に賑わいを！！」 港町鍬ヶ崎地区の賑わい創出事業	鍬ヶ崎元気市の会	24.1	0人

※基準

平均点 24 点以上…候補事業とする

平均点 18 点以上 24 点未満…候補事業としての可否について協議する

平均点 18 点未満…候補事業としない

②事業担当課（プレゼンテーション出席者）

No.1 企業の魅力を調査発信する取材型インターン事業

産業振興部 産業支援センター 商業労政係 係長 工藤翠

No.2 こどものまち「みやっこタウン」の開催

教育委員会 学校教育課 学習指導係 係長 富山一真

No.3 「鋤ヶ崎に賑わいを！！」港町鋤ヶ崎地区の賑わい創出事業

産業振興部 産業支援センター 産業支援係 係長 畠山善徳

主事 木村孝輝

(2) 総合計画後期基本計画（素案）について

（事務局説明：企画課 企画調整係）

総合計画後期基本計画（R7～R11）素案について事務局から説明し、書面での審議を依頼した。

質疑応答内容

質問・意見	回答
【議題（１）令和７年度実施提案事業の審査について】 [テーマ設定型事業] ●テーマ説明 テーマ：ふるさと産業人材の確保促進に向けた企業インターン事業 【担当課】産業支援センター商工労政係 （委員） 対象学生の募集周知についての方法はどのようにするのか。 （委員） 令和６年度の予算案から増額している理由は何か。 （委員） 受け入れ事業者の負担はないのか。もしくはインターンの中で、Web 記事の編集や掲載をしているので、協賛金などはないのか。 （委員） Web 掲載の広告費や人件費、と考えれば同感。 不景気なので大変だとは思いますが、例えば、受け入れ事業者側から協賛金、という形で事業に入れば、この事業の独立につながると感じた。	（産業支援センター） 大学訪問をして周知した。 また、各大学ではインターンシップのポータルサイトがあり、各学生に周知しているが、そこに掲載している。 （産業支援センター） 令和５年度の実績から、団体の人件費負担分が大きいこと、時間的負担も大きいことが分かった。 また、業者との連携も行き違いがないようにケアしていただいているので、相当の経費分を計上したいと考えた。 （産業支援センター） 当初は受け入れ事業者への謝金を予定していたが、受け入れ事業者と相談し、本来、有償で作ってもらうようなWeb記事を学生に事業の中で作ってもらっているため、謝金はなしとした。 事業を継続するにあたり、そこは無料としてよいか、あるいは受け入れ事業者から、「参加費」等をいただき継続するか、検討が必要だと考えている。 （産業支援センター） 大学生だけではなく、高校でのインターンの機会がない学校の生徒もいるので、地域として企業と学生とのつながりを生み出す中で、そのような協賛金制度を導入し、そのお預かりした分以上の成果が挙げられる体制をつくり、協働事業を行っていきたい。

質問・意見	回答
(委員長) 事業規模は昨年度と比較してどう考えているか。 (委員) 実施期間について、7日間程度の設定としているのは、受け入れ事業者の都合に副った設定か、それとも予算的な面からの設定か。 ●プレゼンテーション No.1 企業の魅力を調査発信する取材型インターン事業 【団体名】NP0 法人みやっこベース 【担当課】産業支援センター商工労政係 ※委員1名は団体に所属していることから、評価から外れる。 (委員) Web 記事の掲載は note というサイトに掲載するということだが、見てもらうための仕掛けはどのようにしているか。	(産業支援センター) 毎年度、募集は8社×2名で16名を募集としている。 昨年度は、途中で体調を崩したインターンもあり、結果7名という成果になった。令和6年度実施中の事業に関しては、11名の参加となっている。 来年度はさらに、地元出身者に周知が届くようにし、16名の参加を目指したい。 (産業支援センター) 大学生インターンを受け入れた経験がある事業者が市内にあまりなかったため、極力企業に負担をかけず、かつ学生のインターンの成果を上げるために7日間と設定した。 令和5年度に実施した結果、取材、編集それぞれ3日程度は必要だったため、この取材型インターンの形で実施するなら7日間が適切、と今年度は考えている。 (NP0 法人みやっこベース) Note の中で様々なハッシュタグをつけられる。就職活動、インターンなど学生が調べやすいものを設定している。 また、みやっこベースのSNSで発信し、宮古市のHPでも紹介している。 情報を探している状態の人の目にしか入らないことも考えられるので、宮古市の移住定住のポータルサイトにも載せられるよう、引き続き市と協議したい。

質問・意見	回答
(委員) とても素晴らしい取り組みだと思う。ぜひ、いろんな人に知っていただきたい。 例えば、就活サイトを見たとき、企業のサイトとnoteを繋ぐことができると、その企業に興味がある人がnoteを見る、という流れができると思う。 (委員) 令和5年度は7社、令和6年度は9社、企業からは大変好評だったということだが、事業者は多数応募があった中で選定したのか、それとも、集まった数がこれくらいだったのか。 (委員) 業種的な偏りはないか。	(NP0 法人みやっこベース) 既に求人に力を入れている企業や、受け入れをしていただいている企業では、自社のHPやSNSに記事を載せていただいている。もう少しこちらからも働きかければなおよいかなと思う。 (産業支援センター) 企業への働きかけは、市が窓口となっていた。20社程度に声をかけ、この日程や条件で都合が合う企業を設定した。 (NP0 法人みやっこベース：早川理事長) 学生はみやっこベースで募集した。エントリー時点ではもう少し応募があったが、都合がつかなくなった等で毎年3名程度キャンセルがあった。 今年度は11名の受け入れとなり、その数を受け入れるにあたって、企業数を調整していただいている。 (NP0 法人みやっこベース) 今年度は、建設業、福祉、製造業、こども園、水産加工業など、結構幅広く受け入れていただいたと思う。 (産業支援センター) 意図的に、いろんな業種、いろんな企業が受け入れ、いろんな生徒に来ていただけるよう工夫している。 (NP0 法人みやっこベース) 学生にもどんな企業や業種に行きたいか、面談の段階で聞いているが、基本的にはどこでも良い様子。自分が学んでいることではなく、新しい分野でも飛び込む学生がたくさんいる。 うまくマッチングするよう、調整している。

質問・意見	回答
(委員長) 受け入れ企業には宮古独自や宮古に関連したような企業はあるか。	(NP0 法人みやっこベース) 例えば今年度、宮古初の誘致企業、宮古マランツ様にご協力いただいた。宮古では製造業が一つの基幹産業になっていると思うが、その設備の充実度合いや、身近な商品の元となっている部品を作っている等そのようなところが学生の興味を引いたようだ。 宮古マランツ様には、山田出身の宮古高校卒業生が参加したが、そのような企業があることに感銘を受けていた。 (産業支援センター) 元々服飾業を行っていたクラスター様が、最近はダウンでブランドを立ち上げたり、毎年色んな水産加工品を開発される丸友しまか様など、素晴らしいものを作っているが周知にもう一つ力を入れたいという企業にも、学生を受け入れ、Web 記事を作ってみないかと声をかけた。
(委員長) どこの地方にもあるようなものでなく、ここにしかないものであれば、宮古の魅力が伝わるかと思う。	(NP0 法人みやっこベース) そういう意味では、企業というより、「取材型」というプログラム自体に独自性を感じて参加する学生もいる。 東京から、将来新聞記者になりたいという学生が、企業の取材をして記事を書くことに魅力を感じて参加した。 その学生は業者を選ぶにあたり、より地域に密着した業者であれば、特に業種は選ばない、ということで飛び込んでくれた。 その企業の魅力や業種の宮古らしさも必要になる一方で、「取材型」自体の魅力や独自性なども伝えていきたい。

質問・意見	回答
【自由提案型事業】 No.2 こどものまち「みやっこタウン」の開催 【団体名】NP0 法人みやっこベース 【担当課】教育委員会学校教育課 学習指導係 ※委員1名は団体に所属していることから、評価から外れる。 (委員) 対象の小学4～6年生は何人くらいか。 (委員) 参加可能人数は150名というのは最大値か。参加人数は増やせる可能性はあるか。 (委員) 昨年度は講師交通費や宿泊費が計上されているが、来年度実施の予算にはそれがなく、原材料費にインフラブース材料費が新たに計上されているが、これは今年の事業を踏まえての変更か。 (委員) それをどのように使うものなのか。	(NP0 法人みやっこベース) 募集の際に調べたときは900人くらい。参加率は10%台。 (NP0 法人みやっこベース) 今年度を含め過去7回開催のうち200名を超える参加を募ったこともある。会場の規模を考えると、150～200人くらいが適正かと思うが、たくさんの子どもたちに体験の機会を提供したいとも思っている。 昨年度と今年度は定員上限まで達しなかったもので、来年度は定員150名としながら、少し増えても受け入れられるようにしたい。 (NP0 法人みやっこベース) 講師の交通費、宿泊費に関しては、プログラム内容や子どもたちのキャリア教育の重要性などについて、地域の方々や参加企業及び実行委員会側の学習機会として計上していた。今年度は未実施で、3月までに実施する予定だが、来年度は実施しない形で考えている。 インフラブース材料費については、企業ブースの出店に関わるものの他、ハローワークや市役所、税務署などの公的機関のブースが必要になる。そこは実行委員が運営しているので、そのブースを設置するための材料費を計上した。 (NP0 法人みやっこベース) ブースを仕切る段ボール、税務署で使うスタンプ、ハローワークで大量に使う

質問・意見	回答
(委員) 予算の「消耗品」の科目に計上されている会場装飾用品のダンボールなどとは別の用途ということか。 (委員) 市役所や税務署のブースがあるということは、子どもたちが働いた賃金から税金を得ているのか。 (委員) 中学生くらいからようやく将来を考えてくるのだらうと思うので、中学生を対象にするのも非常に面白いと思う。 (委員) 参加費 1,000 円だが、これは2日とおしてか。	紙の裁断機やクリップの消耗品など。 (NP0 法人みやっこベース) 原材料費については、実行委員会が出店するブースの運営費用として計上したもの。 (NP0 法人みやっこベース) 今年度から子供たちに伝えている。みやっこタウンの中の通貨「ベスカ」でいくら税金があるか、「税金メーター」に掲示する。 税額がたまれば、例えば階段が通れるようになったり、公園ができたりという仕組みにしている。給料についても、税金から払われる仕組みをオリエンテーションで伝えている。 (NP0 法人みやっこベース) こどものまちは、ドイツから入った「ミニ・ミュンヘン」というものが日本に伝わり、全国に広がったもの。 ドイツでは、「遊びの町」といったりしており、大きな「ごっこ遊び」として、自分が市民として何かの役割になりきって遊ぶ、その遊びを通していろんなことを学ぶ、というプログラムなので、中学生には少し幼稚に見えるところがあるかもしれないと思っている。 地域によっては小学4年生から中学3年生までを対象にしているところもあるが、中学生になると少しずつ参加者が減る状況があると聞いた。 一方で中学生にとってはいろんな体験をし、町の仕組みを知ることや、起業の機会が必要だと思っている。例えば、実際の街の中で体験するなど、何か別の形でできないかと考えている。アドバイスがあればお願いしたい。 (NP0 法人みやっこベース) 今年度は1日のみでも2日間でも1,000円とした。

質問・意見	回答
(委員) それに関して保護者からの意見などはなかったか。 (委員) 設定金額は妥当だと考えているか。 (委員長) ブース数の推移はどのようなになっているか。 (委員長) 一つの事業として育ってきたような感じを受ける。ぜひキャリア教育として先ほどのインターン事業につなげていただければと思う。	(NP0 法人みやっこベース) 確認されたことはあったが、クレームのようなものはなかった。 (NP0 法人みやっこベース) 継続を考えると、もう少し参加費収入を上げて良いかとも思うが、家庭事情により子供の体験機会が少なくなる場合もあるかと思う。難しいと思っている。 (NP0 法人みやっこベース) すぐに正確な数字は出せないが、事業実施は2016～19年、20・21年は新型コロナウイルス感染症の影響でストップし、23年から再開して今年度3回目。19年に至るまでは、右肩上がりに少しずつ企業が増え、40弱くらいの企業に参加していただいた。 コロナ禍明けも微増し、35社の参加。
No.3 「鍬ヶ崎に賑わいを！！」港町鍬ヶ崎地区の賑わい創出事業 【団体名】鍬ヶ崎元気市の会 【担当課】産業支援センター商工労政係 (委員) 予算案について、警備の委託料がかなり減額されている理由は何か。	(鍬ヶ崎元気市の会) 開催回数を4回から3回に減じたことにより、1回分の委託料の減少と、これまで大きなライブなどを行う出演者を呼ぶ場合だと音響代がかかっていたものを削減したため。

質問・意見	回答
(委員長) 開催回数 20 回目で延べ参加人数 8 万人の来場者ということだが、どのような増減があったか。	(鉾ヶ崎元気市の会) 令和 2 年の 11 月の初開催時の来場者は 3,500 人。令和 3 年度の春先から秋口にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響で他のイベント等が中止になったことで出店者が増えたこともあり、一番多いときで令和 3 年の 11 月の 8,000 人となった。 直近では、令和 6 年度の春先は 2,500 人。数字だけ見るとかなり減少しているが、コロナ禍が明け、近隣のイベントが増えたため出店者来場者とも、いろんなイベントに分散したためと考えている。 ただ、要因がそれだけなのか、来場者や出店者が求めているイベントになっているかというところを測りかねている。この課題を解決するため、来年度は来場者や出店者へのアンケートを実施し、声を反映してさらに多くの来場者の方に喜んでいただけるようなイベントにしたいと考えている。
(委員) 開催回数の減少の理由は何か。	(鉾ヶ崎元気市の会) 市内の他のイベントが増えており、日時が重なる機会がかなり多くなった。出店者も元気市に出たかったが、他のイベントが決まってしまういたり、来場者も分散してしまったりした。 来場者が少ないと出店者の売り上げにも貢献できないという実情を踏まえ、回数を絞り、他のイベントと開催日が重ならないような時期に開催して、地域を盛り上げていきたいと考えている。
(委員) 直近の出店者数と、令和 7 年度に予定している出店者数はどれくらいか。 また、例えば出店者の 1 回の売り上げがどの程度か把握しているか。	(鉾ヶ崎元気市の会) 最近の出店者数は 30～40 団体で推移している。一番多いときは 80 団体あった。時期は来場者数が最も多かったときと同じ。コロナ禍の為、県外からも出店者が多かった。 最近はほとんど県内や市内の出店者になっている。 地域の方が楽しめるイベントということで、地域に根差した出店者の方たち

質問・意見	回答
(委員長) 鉾ヶ崎周辺の地区で類似するイベントの開催もあると思うが、それらとの連携などもあるか。 【議題（２）総合計画後期基本計画（素案）について】 説明：企画部企画課企画調整係 <質疑なし>	にご参加いただいていることは良い傾向だと考えている。 売り上げについては、来場者の減少に伴って落ちているということもなく、皆さん一定の売り上げを育てている状況。 毎回、元気市の終了後には売上金額と出店者の人数はアンケートを取りデータとして残している。 (産業支援センター) 令和４年度に出崎地区で開催した秋の味覚祭りと同時開催の「出張元気市」、ということで開催したが、元気市は鉾ヶ崎地区の賑わい創出という趣旨がある。 出崎地区は近くではあるが、住民にとっては少し距離がある場所であるということから、不便だという声もあった。 鉾ヶ崎地区で開催することに意義があるということで、それ以降、出張開催はしていない。

以上